

# 琵琶湖調査2007

—温暖化と降雪量の減少が琵琶湖に与える影響調査—

琵琶湖の「水質」って実際どうなの？

「調査」ってどんなことをするの？

白鷺・琵琶湖市民大学2006 調査実習船は行幸船 Photo: Y. Yamashita © 2006/5/28

琵琶湖の北湖は、平均水深が約43mと深く、最深部は100mを超えます。北湖底層の生物は、冬の気温低下によって起こる全層循環（「琵琶湖の深呼吸」とも呼ばれる）による湖水の上下混合や、冷たくて比重の重い雪解け水が底層に流れ込むことで運ばれてくる酸素を利用して生活しています。しかし、近年の温暖化や少降雪により、これらの酸素供給機能の低下が危ぶまれています。また、底層の低酸素化は、底泥からの栄養塩類の溶出を引き起こし、水質の富栄養化をもたらす恐れもあります。

降雪量の少なかった2007年の琵琶湖北湖を調査して現状を正確に把握し、これからどうなるのか、どうすべきかを考える手がかりを得るために『琵琶湖調査2007』を企画しました。調査を体験して、外から見ているだけでは分からない琵琶湖の真相（深層）をのぞいてみましょう。

【日程】	2007年9月8日（土）～9日（日）	【スケジュール（予定）】	
	8日 14:00 集合 （荒天の場合は15、16日に延期します）	8日 14:00～15:00	受付、調査器材運搬など
		15:30～17:00	琵琶湖や調査に関する基礎講義
【場所】	湖北町尾上 朝日漁業会館（調査拠点）	17:00～19:30	夕食、入浴、交流会など
【参加費】	一般 ¥2,000 学生 ¥1,000	19:30～21:00	調査作業分担、打ち合わせ
【申込方法】	要事前申込 電話、FAX、E-Mailにて お申込ください。定員30名となり次第 締切りとさせていただきます。	9日 04:00～05:00	起床、出港準備
		05:00～	乗船、調査開始
【持ち物】	一泊分の着替え、洗面用具など 帽子、タオル、筆記用具、保険証の写し （調査船に乗ります。汚れてもよい服装で）	10:00～11:00	休憩、昼食
		14:00～	調査終了、片付けなど
		調査地点	姉川、天野川河口から横断し4～5地点
		調査項目	採水、採泥、底生生物採取、水質測定

【主催】 琵琶湖市民大学 神戸市灘区将軍通4丁目3-15-101 ひょうご環境科学研究所気付

TEL・FAX 078-801-7453 <http://www.hyogokankyo-lab.com/biwako/>

この調査は(財)河川環境管理財団の河川整備基金、セブンイレブンみどりの基金の助成を受けています。

